



筍取ったぞー、たけのこご飯作ったぞー！

響流の森の筍が伸びて、竹になっているのではないかと心配されましたが、年長担任が事前にチェックをしたところ、幸いにして、子どもたちが掘る分の筍は、残っていたようです。年長さんは、スコップで少しずつ、少しずつ土を掘り出し、グループごとに指定された筍を、苦戦の末に取り出しました。その時の子どもたちの顔と云ったら、喜びと達成感に満ちていました。

子どもたちが掘った筍の中には、高級料理店で調理されるような柔らかい筍もありました。焼いて食べるときって美味しいでしょうね。しかし、年長さんにしてみると、ちょっぴり顔を出した小さな筍よりも、皮がついて2~30cm地上に顔を出した筍の方が、苦労した分、掘った気になったようです。



後日、各クラスで筍のお披露目を行い、皮を剥きながらの大きさ比べをした後、一人ひとりが包丁を入れました。子ども用の包丁とはいえ、油断は禁物です。初めて包丁を扱う年長さんも、担任から安全な使い方の指導を受け、緊張しながら丁寧に切っていました。お陰で一人も怪我することなく、上手に切ることができました。

保護者の皆さまは、ご家庭でお子様に、ナイフや包丁を使わせていますか？ 通常、この年代の子どもには危ないからと云ってナイフや包丁を使わせないのが普通でしょう。安全な使い方を指導すると、小さな子どもでも使うことができるということを本園の年長さんは証明してくれました。

27日(金)に、遊戯室で年長合同で喜びを分かち合いながら、筍ご飯をいただきました。おか



ずがいらない程美味しく何杯もおかわりする年長さんもいました。最高の味でした。

たくさんの花に飾られた花御堂

26日(木)に、大学宗育部の宇野先生をご導師にお迎えし、お釈迦様の誕生をお祝いする花まつりを行いました。毎年、保護者の皆様には、花の持参をお願いしていますが、今年も全員の方に協力していただきまして深く感謝申し上げます。

子どもたちに、持ってきた花の名前を尋ねると、「カーネーション」や「ひまわり」の花はさすがによく知っていて、答えることができましたが、普段、目にしない花については答えることができませんでした。子どもと一緒に登園されたお母さんから、優しく「シャクヤクよ」とか「ガーベラよ」と教えてもらっていました。さすが、お母さん！

当日、遊戯室で花まつりの行事を行い、初めて献灯・献花・焼香を経験する年長さんは、普段の元気いっばいの笑顔とは違って、緊張した面持ちで、お勤めを無事に終えました。当番の子どものお母さんにとっては、3年間で1度しか経験できない子どもたちの晴れ姿をパチリ。

導師の宇野先生からは、スライドを用いてお釈迦様の誕生に関する逸話を分かりやすく話していただきました。驚いたことは、年少さんが、先生の話静静地に聞くことができたことです。私が幼稚園に着任して5年目になりますが、初めて、年少さんがこの時期に、導師の先生の話静静地に聞くことができたのを見ました。この様子に、宇野先生も感心しておられました。1年後の成長が楽しみです。

保育後、年少さんは、お母さんと一緒に花御堂のお釈迦様に甘茶を掛ける灌仏を経験しました。※今回の花まつりが、遊戯室での最後の法要となりました。今年度の大きな法要については、中学・高校同窓会会館(紫苑館)食堂の3階にある水月ホールで実施できるように精華会をお願いしているところです。その折はお知らせします。



【どー】に挿そうか